

人口減少時代の住宅・土地のリユース・リサイクル—空き家・空き地問題のその先—

入場無料

日時： 2015年12月20日 13:00-17:00

会場： 東京大学本郷キャンパス工学部 14号館1階 141番教室

東京都文京区本郷7-3-1 (http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_15_j.html)

主催： 空間リサイクル研究会（略称：空リ研）

趣旨： 近年、学会、学術誌だけでなく、新聞、雑誌でも空き家・空き地に関する記事を目にするようになってきた。既に、国土交通省等により中古住宅利用促進策や特定空き家の除却支援制度が整備されており、国としても一定の政策的対応を取った段階である。一方で、その根拠になっている空き家率（住宅・土地統計）の信頼性について疑問が呈されつつある。

本ワークショップでは、空き家・空き地議論の基盤となっている住宅・土地統計結果の妥当性について吟味し、問題が実際に深刻化する時期について再検討する。さらに、空き家・空き地にとどまらず、人口減少時代において日本の経済生産性を改善していくために必要な投入資本としての空間の効率性改善に向けた空間リサイクルの必要性、より包括的な空き家・空き地対策議論のボトルネックとなる住宅・土地の所有権について立法政策の必要性、空間リサイクルを実現するための想定される対策案について紹介し、議論を行うことを目指している。

定員： 先着 80名（資料は当日配布）

申込： 下記の問い合わせ先に、ご所属、お名前、連絡先（メール・電話）を記載したメールを送付ください。複数名のご参加の場合は、全員のお名前をご記入ください。

問合せ先：tetsujiuemura@alumni.lse.ac.uk

プログラム

時刻	プログラム	講演者	演題
13:00	開場		
13:30	開会挨拶	浅見泰司 (東京大学大学院工学系研究科教授)	
13:35	講演 1	植村哲士 (株式会社野村総合研究所, グローバルイノベーション部 上級研究員)	趣旨説明： 人口減少社会における空間リサイクルの 必要性と空き家・空き地の現状
14:00	講演 2	宗健 (リクルートすまい研究所 所長)	住宅土地統計の妥当性検証と、検証後の空 家率・問題化の時期
14:30	質疑		
14:45	休憩		
15:00	講演 3	小柳春一郎 (獨協大学法学部教授)	空間リサイクルに向けた法的課題
15:30	講演 4	宗健	空間リサイクルに向けた対策案：滅失権取 引制度の提案（*）
16:00	質疑・討論		
17:00	閉会		

* 来年の適当な時期に、今回、時間の関係上含めていない内容についてワークショップを計画予定